

専門問題

令和元年8月施行 職員採用選考

指示があるまで開いてはいけません。

注意

1. 問題と解答用紙は別になっています。あなたの選考区分の問題について、必ず解答用紙に解答してください。
2. 問題は選考区分ごとに分かれています。
3. 解答時間は**1時間**です。
4. 解答に当たっては、解答用紙の表紙に記載された**注意**をよく読んでください。
5. この冊子は持ち帰ることができますが、**解答用紙は絶対に持ち帰らないでください。**
6. 問題のページは、次のとおりです。

資金運用・・・1ページ

財務・・・2ページ

システム・・・3ページ

不動産・・・4ページ

国際・・・5ページ

医療事務・・・6ページ

土木設計施工・・・7ページ

測量・・・8ページ

建築施工・・・9ページ

機械設備・・・10ページ

電気設備・・・11ページ

林業・・・12ページ

公園整備・・・13ページ

児童心理・・・14ページ

病院心理・・・15ページ

児童福祉・・・16ページ

看護・・・17ページ

埋蔵文化財・・・18ページ

【資金運用】

次の全てに答えよ。

- (1) 次の語句について説明せよ。
 - (ア) アンシステマティックリスク
 - (イ) アモチゼーション
 - (ウ) 資金運用におけるベータ (β) とアルファ (α)

- (2) 債券運用における、ダンベル(バーベル)型ポートフォリオに関する次の問いに答えよ。
 - (ア) 長所及び短所に言及した上で、概要を説明せよ。
 - (イ) 「イールドカーブの変化による損益への影響」について、ブレッド型ポートフォリオと比較して説明せよ。

【財 務】

次の全てに答えよ。

- (1) 次の会計用語について説明せよ。
 - (ア) 流動性配列法
 - (イ) 定率法
 - (ウ) 固定比率

- (2) 「金融仲介機能のベンチマーク」の策定の趣旨と、内容について説明せよ。

【システム】

次の全てに答えよ。

(1) 次の語句について説明せよ。

(ア) R P A

(イ) M a a S

(ウ) クリプトジャッキング

(2) ウォーターフォール型の開発モデルでは、要件定義はプロジェクトの最初に一度行われ、これを基にシステムの仕様や設計を固めることから、その内容が十分に定義されていないと、後続の開発の局面で大きな手戻りが発生する。

この要件定義の中で、システムが何をすべきか、何が必要かを定義するものが機能要件であるが、品質の高いシステム構築のために、発注者側と受注者との間で機能要件に関して誤解のないように合意形成するための作業として重要となるものを三つ挙げ、それぞれ説明せよ。

【不動産】

次の全てに答えよ。

- (1) 都市計画法に関する次の問いに答えよ。
 - (ア) 区域区分について説明せよ。
 - (イ) 用途地域の種類を全て挙げ、それぞれ説明せよ。

- (2) 地方税法に基づく次の措置について、それぞれ説明せよ。
 - (ア) 不動産取得税における新築住宅とその敷地に対する軽減
 - (イ) 固定資産税における新築住宅に対する減額
 - (ウ) 固定資産税における住宅用地に対する特例

【国 際】

次の全てに答えよ。

- (1) 次の(ア)、(イ)について説明せよ。
 - (ア) 次の語句について説明せよ。
 - (a) Tokyo Tokyo FESTIVAL
 - (b) Urban 20
 - (c) たびレジ
 - (イ) 国旗掲揚（日本国旗と外国国旗を並べて掲げる場合）の具体的な方法について説明せよ。

- (2) 「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針で示されている「世界ともだちプロジェクト」について説明せよ。

【医療事務】

次の全てに答えよ。

- (1) 次の(ア)、(イ)に答えよ。
 - (ア) 医療安全対策加算1及び医療安全対策地域連携加算1の施設基準をそれぞれ述べよ。
 - (イ) 評価療養について説明せよ。

- (2) 入院基本料の算定要件である入院診療計画の基準について、厚生労働省の通知に基づき留意事項を述べよ。

【土木設計施工】

次の全てに答えよ。

- (1) 次の(ア)～(エ)について説明せよ。
 - (ア) 洪水ハザードマップ
 - (イ) 道路設計における制動停止視距
 - (ウ) 再開発等促進区
 - (エ) コンクリートの中性化

- (2) 次の問いに答えよ。
 - (ア) 工事における土砂等の過積載防止対策について説明せよ。
 - (イ) 橋梁^{りょう}の基礎における杭とフーチングとの接合方法について説明せよ。

【測 量】

次の全てに答えよ。

- (1) 次の語句について説明せよ。
 - (ア) 復元測量
 - (イ) 深浅測量
 - (ウ) セミ・ダイナミック補正
 - (エ) 基盤地図情報

- (2) GNSS測量に関する次の問いに答えよ。
 - (ア) 干渉測位方式の原理について説明せよ。
 - (イ) GNSS測量機を用いた基準点測量において、観測点の選点及び観測をする際に留意すべき事項を三つ挙げ、それぞれ説明せよ。

【建築施工】

次の全てに答えよ。

- (1) 次の語句について説明せよ。
 - (ア) 枠組足場
 - (イ) 地盤アンカー工法

- (2) 鉄筋コンクリート工事に関する次の問いに答えよ。
 - (ア) コンクリートの打込みにおける留意点を説明せよ。
 - (イ) 鉄筋の継手工法を三つ挙げ、それぞれ説明せよ。

【機械設備】

次の全てに答えよ。

- (1) 次の(ア)～(ウ)について説明せよ。
 - (ア) 熱力学におけるエントロピー
 - (イ) F M E A
 - (ウ) 監理技術者

- (2) 金属の非破壊検査法を四つ挙げ、それぞれ説明せよ。

【電気設備】

次の全てに答えよ。

(1) 次の語句について説明せよ。

- (ア) 高調波
- (イ) 比率差動継電器
- (ウ) 同期発電機

(2) 次の問いに答えよ。

- (ア) 瞬時電圧低下について、発生のメカニズムを述べた上で、需要家機器における影響及び対策をそれぞれ説明せよ。
- (イ) かご形誘導電動機の始動法を二つ挙げ、それぞれ説明せよ。

【林業】

次の全てに答えよ。

(1) 次の語句について説明せよ。

- (ア) 保安林制度
- (イ) 特定鳥獣保護管理計画
- (ウ) 木育

(2) 落石災害防止に関する次の問いに答えよ。

- (ア) 落石の発生原因について、地質に言及して説明せよ。
- (イ) 落石防止工について、落石予防工及び落石防護工の目的をそれぞれ説明せよ。
- (ウ) 落石予防工について主な工種を二つ挙げ、それぞれ説明せよ。
- (エ) 落石防護工の高さについて説明せよ。

【公園整備】

次の全てに答えよ。

- (1) 次の(ア)～(ウ)について説明せよ。
 - (ア) 遊具の安全領域
 - (イ) コンクリート打設後の養生
 - (ウ) 夏期^{せん}剪定

- (2) 次の問いに答えよ。
 - (ア) 芝生の管理作業を挙げ、それぞれの作業の目的について説明せよ。
 - (イ) 日本芝の特徴について説明せよ。
 - (ウ) 昨年12月に都が公表した「日比谷公園グランドデザイン ～5つの提言～」で示された5つの提言を全て述べよ。

【児童心理】

次の全てに答えよ。

- (1) 次の語句について説明せよ。
 - (ア) 自閉症スペクトラム (A S D)
 - (イ) トラウマインフォームドケア

- (2) 愛着の四つのパターンを挙げ、各パターンにおける子供の状態と養育者の関わり方について説明せよ。

【病院心理】

次の全てに答えよ。

- (1) 次の語句について説明せよ。
 - (ア) 抗精神病薬
 - (イ) B P S D (認知症に伴う行動・心理症状)

- (2) 高次脳機能障害の原因、主な症状及び必要な支援について説明せよ。

【児童福祉】

次の全てに答えよ。

- (1) 触法少年に関する次の問いに答えよ。
 - (ア) 触法少年について、犯罪少年と対比して説明せよ。
 - (イ) 触法少年に対する児童相談所と家庭裁判所との関係について説明せよ。

- (2) 本年4月に施行された「東京都子供への虐待の防止等に関する条例」に定める「都民等の責務」及び「保護者等の責務」について、それぞれ説明せよ。

【看 護】

次の全てに答えよ。

- (1) 災害医療に関する次の問いに答えよ。
 - (ア) 東京都知事が指定する災害拠点病院の指定基準のうち、運営体制に関するものを五つ説明せよ。
 - (イ) 大勢の傷病者を短時間で分けるS T A R T法における確認項目について、トリアージのカテゴリー区分に言及して、手順に沿って全て説明せよ。

- (2) 次の問いに答えよ。
 - (ア) アドバンス・ケア・プランニング（ACP）について説明せよ。
 - (イ) 人生の最終段階における医療・ケアについて、医療従事者として求められることを簡潔に説明せよ。

【埋蔵文化財】

次の(1)、(2)に全て答えよ。

- (1) 次の(ア)～(ウ)について説明せよ。
 - (ア) 放射性炭素 (^{14}C) 年代測定法と暦年較正
 - (イ) パブリックアーケオロジー
 - (ウ) 以下の(a)～(c)の中から**一つ**を選び説明すること。
 - (a) 国名勝及び国史跡小石川植物園（御薬園跡及び養生所跡）
 - (b) 国史跡下野谷遺跡
 - (c) 国史跡武蔵府中熊野神社古墳

- (2) 本年4月に施行された改正「文化財保護法」の趣旨と関連させながら、埋蔵文化財の保存と活用について、今後の課題及び方向性を述べよ。